

世田谷区食育の推進

世田谷区の概要

人口：810,983 世帯数：418,118 面積：58.084km²

高齢人口率：(65歳以上人口／全人口)19.7% 児童人口率：(0～15歳未満人口／全人口)10.1%

(平成18年1月1日現在)

世田谷区の計画

地域保健福祉医療総合計画(平成17年度～平成26年度)及びせたがや健やか親子プラン(平成17年度～21年度)を策定するとともに、平成18年度に健康せたがやプランの改定を行った。

これらの計画の下に、健康づくりを全区的な活動へと展開させるため、5地域の総合支所健康づくり課と共に、施策の統合化を図り、区民全体の健康づくり活動を促進するための支援策を講じている。

また平成18年4月に、健康づくり推進条例を制定・施行し、総合的な区民の健康づくり支援態勢を整備した。

食育の推進についても、健康づくり推進条例、健康せたがやプランの重点的な取り組みとして位置付けている。

食育推進

健康づくりを支援するためには、区民、大学、企業、商店街、NPO、教育委員会、学校等と協働が欠かせない。健康せたがやプランの視点、「区民参画」「地域との協働」を基本として、ライフステージに応じた食育の推進と食環境の整備を図る。以下に、主な取り組みを列記する。

1. 食のコミュニケーション会議(食コミ)

(1) 概要

区民、大学、企業、NPOと行政による区民への食情報提供の集まり。参加している事業者等のアイデアや発想を活かした事業展開を図る。この事業を通じて、保健、産業政策、教育などの幅広い連携も行う。

(2) 主な活動

平成17年度 「健康・にぎわいフェスティバル」(5月) 「運動と食事」をテーマにした講座(11月)

講演会「食育ってなあに？」(12月) 食コミ会議の開催、食のお役立ちガイドブックの作成・配布など

平成18年度 食コミ会議ホームページの作成、区の事業やイベントへの参加により、企業の情報の提供を行う。

(3) 今後、「食コミ会議」を推進母体として、さらに自主的な活動を展開し、広く区民に情報提供を図る。

2. クッキングカーを活用した「出前型食育講座」事業の実施

1) 事業の概要

若い世代(20代)を対象に、区民センター、児童館など身近な施設で、食育教室を開催する。

(1) 区内の大学、専門学校や企業などと協働し、食情報の提供、健康的な生活習慣を身につける機会を提供する。

(2) 地元の農家、商店街の協力やせたがや野菜の利用など、地域に密着した特色のある事業を展開する。

2) 実施方法

(1) クッキングカーは東京電力IHキャンペーンカーを利用する。

(2) 行政の直営ではなく、地域参加型とした。

① 世田谷保健所は、会場の確保、広報、関係団体との調整など運営のベースをつくる。

② 講座の運営は、NPO法人健康フォーラムけやき21が中心となる。料理研究家やレストランシェフなど地域の人材を活用した特色あるプログラムを提供する。

- ③ 食のコミュニケーション会議から、企業が参加し、食情報の提供を行う。
- ④ 区内の大学など(東京農業大学、昭和女子大学、その他専門学校)の協力により若い世代の参加を促す。
- ⑤ 農家や商店街などの生産・販売事業者の協力により、旬の野菜の展示や提供など工夫する。

3) 実施場所

- (1) 区民センター、地区会館、児童館など公共施設及び大学施設等
- (2) 商店会会館など民間施設

4) 実施回数

年間12回実施。開催日は土日とし、親子や働く世代の参加に配慮した。

世田谷保健所 上間和子所長

所在地:東京都世田谷区世田谷4丁目22番35号

世田谷区世田谷保健所健康推進課

TEL:03-5432-2440

平成19年3月31日掲載